自然科学研究機構国立天文台 特任研究員（年俸制職員、研究課題「高密度ガス星形成則は普遍か：ALMA による近傍銀河の高密度分子ガスサーベイ」）募集

【募集人員】 特任研究員 １名

【職務内容】

国立天文台アルマプロジェクトでは、日本国内の大学に在籍する研究者に ALMA を用いた科学研究を推進していただくため、「ALMA 共同科学研究事業」を設立しました。ALMA 共同科学研究事業については、以下を御覧ください。

https://researchers.alma-telescope.jp/j/support_programs/almagrant/

本事業に基づき、ALMA の観測データ（アーカイブを含む）を用いた研究課題「高密度ガス星形成則は普遍か：ALMA による近傍銀河の高密度分子ガスサーベイ」を推進する特任研究員を募集します。本研究課題の採択者である周南公立大学・道山 知成（助教）の下、本特任研究員には勤務時間の１００％ を用いて本研究課題を推進すると共に、ALMA プロポーザルも積極的に提出していただきます。研究成果として、年１編以上の投稿論文の出版と年１件以上の ALMA プロポーザルの提出に加え、本研究課題を推進する場合に限り、学生の研究等への指導・支援を行っていただきます。

（職務内容変更の範囲） 変更なし

【研究課題】

- 研究課題名：

（日本語名）高密度ガス星形成則は普遍か：ALMA による近傍銀河の高密度分子ガスサーベイ

（英語名）ALMA DenseGAS Survey: Testing the (non-)universality of the dense gas star formation scaling relation

研究概要：

銀河の星形成は、その材料となる分子ガス、とりわけ星形成を直接担う高密度分子ガスと密接に結びついている。近年の近傍銀河の分子ガス観測により、星形成の効率は銀河の性質や進化段階によって変化しうることが示唆されているが、その起源はまだ十分に理解されていない。本研究課題では、ALMA による近傍銀河の高密度分子ガス観測データを解析し、多様な星形成活動を示す銀河において高密度ガスと星形成の関係がどのように変化するかを明らかにすることで、高密度ガス星形成則の普遍性を検証する。さらに本研究を基盤として、より大規模な ALMA 観測プログラムへの展開を目指す。

【所属（勤務地)】公立大学法人　周南公立大学（山口県周南市）

※ 国立天文台で採用し、同日付で周南公立大学と国立天文台で在籍出向契約を結び当該大学へ出向していただきます。

（勤務地変更の範囲）　法人の指定する場所

【身分・待遇】

- 給与は年俸制。月額３５万円を毎月支給。
- 通勤手当を支給（上限１５０，０００円／月）
- 健康保険（文部科学省共済組合)、年金（厚生年金)、雇用保険および労災保険に加入
- ボーナス、退職金の支給はありません。

（出向時の勤務条件等）

- 勤務時間及び休日については周南公立大学の諸規則を適用します。
- 週５日（月～金）8 時 45 分～17 時 30 分（休憩 60 分）を基本とする専門業務型裁量労働制勤務
- 休日（土、日、祝日、年末年始＜12 月 29 日～1 月 3 日＞）
- 年次有給休暇（採用日に付与）
- 特別（有給）休暇＜慶弔休暇、短期療養休暇、子の看護等休暇、介護休暇等＞
- 敷地内禁煙（屋外に喫煙場所あり）

【着任時期】 原則として２０２７年４月１日または２０２７年１０月１日

【契約期間】

- 本特任研究員の契約期間は試用期間（６カ月）を含めて原則２年間ですが、本研究課題は、本特任研究員の着任から１年半経つ日までに中間審査が実施され、その結果、契約期間が１年間延長されることがあります。
- ただし、着任前６か月以内に自然科学研究機構の有期雇用歴がある場合、通算有期雇用期間が１０年を超えないように契約期間が設定されます。
- 着任後、長期の療養、育児・出産等の事情がある場合は、中間審査においてその事情を考慮します。
- 採択者が他大学または他機関に異動された場合、一緒にその大学または他機関に異動していただくことになりますが、異動先で本特任研究員を受け入れることができなかった場合、就業場所を国立天文台（東京都三鷹市）として研究を継続していただくことになります。この場合、異動時点での契約期間で雇用を終了し、契約期間の延長は行いません。

【応募資格】 関連分野で博士の学位を有するか、それと同等の研究能力を有する者。
※２００４年４月以降国立天文台に特任研究員（プロジェクト研究員を含む）又は短時間契約職員のうち研究員としての通算有期雇用期間が５年を超える方はご応募いただけません。

【応募方法】
下記 URL の申請フォームに必要事項を入力し、送信してください。
https://forms.cloud.microsoft/r/LSL5mCm3mD

・送信後、(a)応募書類アップロード用 URL、(b)推薦書アップロード用 URL が記載された、メールを送ります。
(a) 応募書類アップロード用 URL には提出書類(1)～(5)、(7)のファイルをアップロードしてください。
(b) 推薦書アップロード用 URL を使用し、提出書類(6)の推薦書をアップロードしていただくよう、推薦者に依頼してください。
注意点：
・申請フォームで送信した後、祝休日を除き 3 日以内に通知メールを送ります。通知メールが届かない場合には、下記問い合わせ先までご連絡ください。
・通知メールが迷惑メールに振り分けられないようご注意ください。
・推薦書は、応募締切までに推薦者が直接アップロードしてください。
・推薦書のアップロードは、推薦書提出用 URL 宛にアップロードしていただきます。通知メールに記載の推薦書提出用 URL を推薦者に知らせてください。
・PDF は 1 ファイル最大 50MB、トータル 100MB、最大 10 ファイルまでとしてください。
・応募締切後、祝休日を除き 5 日以内に受領確認メールを送ります。メールが届かない場合には、下記問い合わせ先までご連絡ください

【提出書類】
・ 以下の提出書類を英文で作成し、全てをＰＤＦに変換してください。

(1) カバーレター （研究課題名を明記すること）
(2) ＣＶ
(3) 研究論文リスト（査読論文とその他を区別し、共著論文の場合は応募者の役割分担を記すこと）
(4) 主要論文３編以内のＰＤＦファイル

(5) 職務に対する抱負と計画
(6) 推薦書２通以上（推薦書は、推薦者が応募締切までに提出先に直接送ること）
(7) 速やかに連絡できる本人連絡先

・ 応募締切： ２０２６年１２月８日（火） 日本時間 １５:００必着

【採用の決定】
書類選考の上、面接をオンラインで行う場合があります。なお、面接に要する費用は応募者の自己負担となります。
採用は国立天文台有期雇用職員等審査委員会での承認が必要となります。

【問合せ先】
・ 応募に関する問合せ：
国立天文台 事務部総務課人事係
E-mail: job11-pjt-researcher1_atmark_nao.ac.jp
（_atmark_を@に置き換えてください。以下同様。）
・ 研究内容に関わる問合せ：
周南公立大学 （情報科学部情報科学科） 道山 知成 （助教）
E-mail: michiyama_atmark_shunan-u.ac.jp

・ その他：
国立天文台 アルマプロジェクト ALMA 共同科学研究事業担当
E-mail: alma-grant-inquiry_atmark_ml.nao.ac.jp

【その他】
・ 採用前に獲得した科学研究費等の外部資金を継続すること、あるいは採用後に獲得することは可能ですが、研究課題に即した内容であるかどうかを国立天文台アルマプロジェクトが判断した上で認められることになります。
・ 国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めており、業績の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。また、出産・育児・介護等のために休暇・休業を取得した場合には、履歴書にその旨、明記してください。業績を評価する際に配慮します。国立天文台の男女共同参画社会の実現に向けた取り組みの詳細は https://www2.nao.ac.jp/~open-info/gender-equality/を御覧ください。
・ 自然科学研究機構では、男女共同参画の推進及び若手研究者の支援を図ることを目的として、独立行政法人日本学生支援機構の奨学金返還残額の一部又は全部を日本学生支援機構に直接送金することにより支援する制度を導入しています。詳細は

https://www.nins.jp/about/folder7/dairihenkan.html を御覧ください。

- 自然科学研究機構は、求職活動等における求職者等へのセクシュアル・ハラスメントは一切容認しません。求職活動等に関するルールおよび相談窓口等に関しては、下記リンクより「自然科学研究機構における求職者等へのセクシャル・ハラスメントに対する基本方針」をご覧ください。
  https://www.nins.jp/open/assets/j_hara_nins20260910.pdf

- 応募に際していただいた情報は、この選考および事務連絡以外のいかなる目的にも使用いたしません。選考後、採用に至った方以外の応募書類は責任をもって破棄します。

【募集者名称】

大学共同利用機関法人自然科学研究機構国立天文台

以上